アスベスト

屋外作業者の曝露の実態

87年番組を使い陳述

12月22日、首都圏建設アスベスト訴訟・東京2陣第7回期日が東京高裁で開かれました。

この日の法廷では、裁判官が交代したこともあり、あらためて意見陳述が行なわれ、遺族原告の舘野純子さん（品川）が67歳で亡くなった夫・哲夫さんの被害の実態、弁護団は屋外建設作業の予見可能性、被告企業の共同不法行為の寄与度などを陳述しました。森孝博弁護士は、1987年にNHK『クローズアップ』で放映された「検証・石綿汚染」を使いながら、当時から屋外作業時の石綿粉じん曝露の危険が指摘されていたことを陳述しました。

統一本部を代表して訴える松本副本部長

ミナマタの仲間からエール

開廷に先立ち、高裁前で集会が開催されました。この日はノーモアミナマタ東京2次訴訟が東京地裁で同時刻にあり、公害総行動などで共闘している関係から、共同集会として行なわれました。司会を務めた清水謙一全国連絡会事務局長が共同開催の意義について説明した後、松本久人統一本部副本部長があいさつ。「埼玉の仲間がニチアスの支社への包囲行動を行なった。今後は、東京でも本社はもちろん、支社、背景資本である銀行にも抗議、要請行動をすすめて、建材企業を謝罪、補償基金制度への参加に追い込んでいく。最後までがんばろう」などと訴えました。

ミナマタ支援連の大島文雄代表委員は、建設アスベストのたたかいが国に続いて建材企業にも勝利して「画竜点睛（がりょうてんせい）」となることを期待すると、エールを送りました。

板橋

区と防災協定締結

「住民守るため連携強化」

【板橋・書記・森千恵子記】12月15日板橋区との防災協定締結式が行なわれ、板橋区防災危機管理課から三浦部長・関根課長・野口計画推進係長、板橋支部から山本委員長・野崎産業対策責任者・石川救助隊隊長と書記局が参加しました。

はじめに三浦部長から「区民の安心・安全の取り組みを進めるにあたり今回の条例締結は大変心強い。地域住民の命を守るため、これまで以上に連携を強めていきたい」とあいさつがありました。

続いて山本委員長から「協定締結に向けたご尽力に感謝します。私たちは建設労働者の組合で、現場で働く仲間は、建物の構造をよく理解しています。2017年から災害救助隊を結成し、定期的に訓練も重ねてきました。今回協定を結んだことで、これからは行政のみなさんと協力してがんばっていきたい」と決意を語りました。

災害救助隊石川政利隊長は、「協定が結べてとりあえずホッとした。それと同時に、いざというときの責任感をこれまで以上に感じる。板橋区との防災協定締結で一人ひとりの隊員のモチベーションも上がると思うが、緊張感をもって取り組んでほしい。今後は、分会の中の連絡体制や支部との連絡体制など簡潔でスムーズに行なう方法も検討していく必要がある」と語りました。

前列右から石川隊長、山本委員長、三浦部長、関根課長、後列右から野崎産対責任者、野口係長

6度目の麻布台現場宣伝

「丸の内で助かった」

12月23日、2022年度6回目となる麻布台プロジェクト現場での宣伝を、東京土建を中心に28人で行ないました。なお、行動に東京土建の新入書記も研修の一環として参加しました。

師走の冷たい北風が吹く中ということもあり、この日は「現場で困ったことがあったら組合に相談を」などと書かれた宣伝チラシ等とともにミニカップヌードルを袋詰めして配り、現場従事者を激励しました。

宣伝物を配布しながら、従事者から聞き取ったアンケートでは、「働きやすい現場だ」「コロナ対策はしっかりしている」と現場環境は良いという評価がある一方、11月の宣伝の際にも指摘があった「休憩所と喫煙所が少ない」という声が依然としてありました。また、「2018年夏の丸の内3―2現場では助けてもらった」と感謝する声も寄せられました。

今年も引き続き、当現場での宣伝を継続して行なっていきます。

C街区前でアンケートをとる寺山さん（右端）

軍拡より生活に

「ちばけんな敵基地攻撃」

12月19日、国会議員会館前で月例の総がかり行動が行なわれ、1100人（東京土建は50人）が集結しました。

主催者を代表して、憲法共同センターの小畑雅子さん（全労連議長）があいさつ。ツイッターデモに寄せられた、軍拡ではなく子どもたちがお腹いっぱい食べて笑顔で生活できるように税金を使ってという母親の声を紹介し「給食無償化は4400億円でできる。しかし岸田政権はそれには背を向けて、軍事費を2倍化し、5年で43兆円にしようとしている」と怒りを込めて訴えました。

国会からは近藤昭一（立民）、福島瑞穂（社民）、山添拓（共産）議員が連帯のスピーチを行ないました。また、市民からは4人が発言。「おかやまいっぽんの会」の片岡達彦さんは「敵基地攻撃能力保有、ちばけんな（ふざけんな）」などと岡山の方言を交えながら、地域での継続的な活動について話しました。

建設国保への東京都補助金

議員の賛同署名次々と

上田都議（右）から署名を受け取る高梨俊一江戸川支部副委員長

建設国保は私たちの「命の綱」です。東京土建では毎年、都議会議員の皆さんに、「建設国民健康保険組合への東京都補助金に関する賛同署名」をお願いしています。署名をいただいたのは以下に記載した皆さん（既報の議員は除く、12月21日現在）です。

＊敬称略
＊都＝都民ファースト、自＝自民、公＝公明、共＝共産、立＝立憲民主、ミ＝ミライ会議、無＝無所属

【葛飾区】北口つよし（公）、平田みつよし（自）
【文京区】福手ゆう子（共）
【台東区】保坂まさひろ（都）
【江東区】細田いさむ（公）、山崎一輝（自）、あぜ上三和子（共）、白戸太朗（都）
【江戸川区】竹平ちはる（公）、田の上いくこ（ミ）、上田令子（無）、宇田川聡史（自）
【板橋区】かまた悦子（公）、宮瀬英治（立）、とくとめ道信（共）
【豊島区】本橋ひろたか（都）、米倉春奈（共）、長橋桂一（公）
【北区】曽根はじめ（共）、大松あきら（公）
【練馬区】小林健二（公）、藤井とものり（立）、とや英津子（共）、おじま紘平（都）、村松一希（都）、柴崎幹男（自）、山加朱美（自）
【中央区】石島秀起（自）
【島しょ部】三宅正彦（自）
【品川区】阿部祐美子（立）
【大田区】藤田りょうこ（共）、松田りゅうすけ（無）、斉藤りえ（立）、鈴木あきまさ（自）、かつまたさとし（公）、もり愛（都）玉川ひでとし（公）
【目黒区】伊藤ゆう（都）、西崎つばき（立）
【渋谷区】中田たかし（立）、龍円あいり（都）
【世田谷区】福島りえこ（都）、里吉ゆみ（共）、たかく則男（公）、小松大祐（自）、三宅しげき（自）、山口拓（立）、風間ゆたか（立）、土屋みわ（自）
【中野区】西沢けいた（立）、高倉良生（公）
【三鷹市】中村ひろし（立）、山田ひろし（都）
【武蔵野市】五十嵐えり（立）
【北多摩第3】中嶋義雄（公）
【昭島市】内山真吾（都）
【西多摩】清水やすこ（都）
【小金井市】漢人あきこ（無）
【北多摩第2】岩永やす代（無）
【府中市】小山くにひこ（都）、鈴木錦治（自）
【八王子市】アオヤギ有希子（共）、伊藤しょうこう（自）、須山たかし（立）
【日野市】清水とし子（共）
【南多摩】石川良一（都）
【町田市】星大輔（自）
【小平市】竹井ようこ（立）、磯山亮（自）
【北多摩第4】原のり子（共）、渋谷のぶゆき（自）
【西東京市】浜中のりかた（自）、桐山ひとみ（ミ）